

科目区分	専門分野	履修学年	2年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	母性看護方法Ⅱ			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 母性看護学 ①概論・リプロダクティブヘルスと看護 2) メディカ出版 母性看護学 ②母性看護の実践 3) メディカ出版 母性看護学 ③母性看護技術						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学【1】 母性看護学概論 2) 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学【2】 母性看護学各論 3) メディックメディア 病気がみえる【10】産科 第4版 4) 日本助産診断実践学会 マタニティ診断ガイドブック 第6版 5) 日本助産診断実践学会 実践マタニティ診断 第5版						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>妊娠・分娩・産褥・新生児期の母子および家族への看護を展開する上で必要なウェルネス看護診断や、母性看護過程の展開方法について学ぶ。マタニティサイクル各期（妊婦・産婦・褥婦・新生児）および家族に対する生活援助や保健指導の必要性についても学ぶ。また、母性看護の対象者を看護する上で必要な実技を習得するために、マタニティサイクル各期における基礎看護技術の演習を行う。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 母性看護過程展開に必要な周産期のアセスメント視点と展開方法が理解できる。 ウェルネス思考に基づいた母性看護の看護過程がわかる。 産褥、新生児期の母児の経過を標準的な指標と経日的な変化の双方から考え、正常か異常かアセスメントできる。 事例の経過から母子に必要な観察点やケア内容を考えることができる。 妊娠、分娩、産褥および新生児の看護に必要な基本的技術を習得できる。 							
評価方法	筆記試験 レポート 沐浴実技試験						
備考	関連科目：母性看護学概論,母性看護方法Ⅰ マタニティサイクル各期のアセスメントに関してはレポート提出とすること						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	母性看護に必要な技術（妊娠期・分娩期）	講義
2	母性看護に必要な技術（産褥期・新生児）	講義
3	母性看護に必要な技術（妊娠期・分娩期） 妊娠期＝疑似妊婦体験・妊婦健康診査（腹囲・子宮底計測） レオポルド触診法 分娩期＝産痛緩和法	演習
4	母性看護に必要な技術（産褥期・新生児） 産褥期＝褥婦の観察（子宮底測定・輪状マッサージ・悪露交換） 新生児＝バイタルサインチェック・黄疸測定 児の抱き方と寝かせ方・授乳・排気の方法	演習
5	母性看護に必要な技術（新生児） 沐浴・臍処置・耳鼻腔の清潔・衣服の着脱	演習
6	母性看護に必要な技術（新生児） 沐浴・臍処置・耳鼻腔の清潔・衣服の着脱	沐浴実技試験
7	【妊娠期における看護過程の考え方】 妊娠期の看護過程の特徴と概要	講義
8	妊婦経過の判断に必要な情報とアセスメント	レポート提出
9	【分娩期における看護過程の考え方】 分娩期の看護過程の特徴と概要	講義
10	分娩経過の判断に必要な情報とアセスメント	レポート提出
11	【産褥期における看護過程の考え方】 産褥期の看護過程の特徴と概要	講義
12	産褥期におけるアセスメントと援助の方法	レポート提出
13	【新生児における看護過程の考え方】 新生児の看護過程の特徴と概要	講義
14	新生児の出生直後およびその後の子宮外適応状態についての アセスメントと援助の方法	レポート提出
15	終講試験 まとめ解説	